

最初は信州まつもととまち自動車学校内の、昭和3年に「中信地区自動車運転試験場」、昭和9年に「自動車検査場」が併設されたことを記念して建てられた大きな碑



自動車運転試験場と自動車検査場記念碑

5月27日、心配した昨日からの雨も上がり、ウォーキングには最適な天気でした。福祉ひろばに集合、原田公民館長から地区の石造物についての説明がありスタート。参加者は22名。

城東地区の石造物めぐりに参加して

● 城東地区 ●	
1981 世帯	
男 1832 人	
女 1990 人	
合計 3822 人	
H 28.7.1 現在	



開道記念碑

を見学しました。宮坂節勇校長は「ここに由緒ある石碑が建てられていることを再認識し、大切に管理したい」と挨拶されました。

次に、元町上、北、中町会と約1キロほど国体道路を下り、女鳥羽川のロマン溢れる名前の「元女橋」を渡り、300メートルほど歩いた左側の「開道記念碑」を訪ねました。この女鳥羽町会にある碑は、大正13年に霞町から岡宮神社まで開通した南北の広い道路を記念して建てられたもので、素朴な3メートル程の石に刻まれています。



大石鳥居建設記念の碑

岡宮神社も松本城の鬼門除けとして歴代の城主から庇護を受けておりました。境内では神主の福澤さんが「大石鳥居とその建造記念碑」「ご神門と建設記念碑」「大石灯籠」そして「岡宮神社の由来碑」について説明をして下さいました。



大安楽寺から岡宮神社へ

「大安楽寺参道の石仏群」は地蔵群、観音像群と並んで20体近くありました。安楽寺は松本城の鬼門除けに位置し、又松本三十三札所めぐりの一番霊場として多くの石仏が建てられたようです。

次に、神社の西の門から一般道に出てすぐ念仏供養塔の脇にひっそりと建っている「大酒供養塔」があり、この塔については元町上の古文書研究家の横田國政さんが詳しく説明して下さいました。日本中でただ一基しかない貴重な供養塔とのことでした。



大酒供養塔

岡宮町会にある「道祖神と観音石仏像」のある地に向かいました。1858年と刻まれているこの道祖神は男女が手を重ね微笑ましいものでした。安曇野にあるような道祖神で、びっくりしました。



奥に地蔵四体 前に念仏供養塔

次に、中村と言われる地籍にある文園町会の地蔵四体と名号塔二基を見学しました。名号塔一基は、はつきり「等順」と読めるものでした。



道祖神と観音石仏像

このように石造物を訪ねて、旧道を斜めに女鳥羽川に出て「あさひはし」を渡り福祉ひろばに帰ってきましたが、あつという間に4キロ以上歩いてしまいました。

石造物は城東地区にまだ他にあると聞きました。各町会の宝物だと思えます。皆で大切に保存したいものです。

(鷹巣)

元町上町会の事業 いろいろ

昭和31年8月15日、元町北町会から独立して、今年は60年を迎えます。

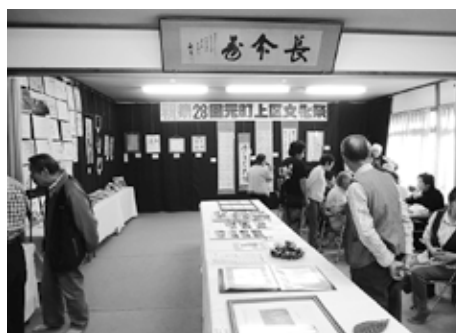
翌年には、皆が集う公民館を造ろうとの機運が高まり、折しも信大附属病院の火災から免れた一棟の払い下げを受け落成させることができました。尚、この公民館は一部補助金をいただき平成24年に耐震工事をし、安心して使用ができるようになっていきます。

公民館では、町会の会合はもとより、長生クラブなど活発に活動する拠点になっています。餅つきと新年会、三九郎の準備、子供たちのぼんぼん、青山様、子供会、保護者会の集会にと使用されています。

又、趣味のサークルとして、生け花の会、毎週土曜日にはカラオケ同好会が開かれ歌の練習を楽しんでいます。

秋の文化祭は今年で29回を数えます。作品展示ばかりでなく、お茶を飲み、お菓子を食べながら和気あいあいと作品のこと、家族のことなど話に花が咲いています。又、

カラオケの発表もあり、高齢者の皆さんで歌っている姿は微笑ましいものです。



文化祭 公民館内の展示

大事業の一つである運動会は現在旭町小学校校庭をお借りして行い、市政100周年城東公民館開館15周年記念大会にはノウハウ・器具を提供させていただき、合同開催となりました。不思議なことに雨に降られて中止になったことはありません。町民だけで150名あまりが参加し、子供たちが司会をし、班長、組長たちがゴールに立ち、一人ひとりに景品を渡す。親子で行うゲーム、クイズマックスのパン食い競争など、声援と笑いの絶えない一日となっています。夜はアルコールを入れ、ぐくろうさん会を盛大に催しています。

踊りが企画され、現在はデリシアの駐車場をお借りして昨年で57回目を数えています。町会で独自に鉄骨の櫓を組み、近年は自家発電機を使い提灯を灯しています。まさに災害時の発電訓練も兼ねたものです。

盆踊りでは、毎年町会の浅田正子さんから講習を受け、踊れる方が増え、二重の踊りの輪ができ、木曽節、炭坑節、東京音頭、鹿兒島おはら節、伊那節、佐渡おけさなど、近隣の方も参加するようになりました。松本ぼんぼんの曲が流れると子供たちの出番となっています。閉会前に行われる抽選会の景品も楽しみの一つです。



盆踊り

当町会も高齢化が進んでいますが、昨年から始めた毎月第3水曜日の「ほほえみ茶房」には高齢者を中心に、毎回30名あまりが参加し、健康維持・地域での見守り・特殊詐欺防止の話など、情報交換をし、絆を深めています。

少子化についてはここ数年減少せず、逆に小学校入学人数が少しずつ増加しています。数々の行事に住民が積極的に参加するまち、絆を大切に、元町上町会は元気で。(衣川)



三九郎と留学生

松本地震から5年

「食料と水の期限は大丈夫？」

▼5年前には東日本大震災・県北部地震・震度5強の松本地震と相次いだ。

本年4月の熊本地震は、その後も余震が続いている。

▼大きな災害では、発生当初、避難所では「命をつなぐための食料と水」が不足し、行政による早期の公助はあまり期待できないのが実情だ。

▼「災害は忘れたころにやってくる!!」と言われるが、松本地域も直下型地震マグニチュード7.6程度が30年以内に最大30%の確率で発生すると公表されている。

▼地震に備えての各種連絡方法、緊急持出し品等は「我が家の安心・安全づくり」(平成27年地区防災部会作製)の保存版を活用して、再度点検したい。

▼松本市は非常用の備蓄品のうち、食料と水は、「1週間分は確保して」としている。

▼わが家の「食料と水」の備蓄・再点検を!

【3日分の食料品備蓄例】

・水…3リットル

・米…5合かアルファ米、

レトルトご飯9食分

・レトルト食品…4パック

・肉魚などの缶詰…5缶

・野菜・果実の缶詰…適宜

・カセットこんろ…1台

・同右ボンベ…3本

※農水省「家庭用食料品備蓄ガイド」より

(柳澤)

